



静商同窓会 中部支部だより



アンケート結果及び令和7年度「中部支部の集い」の報告

支部長 原 規雄（第70回・S44年卒）

中部支部は令和7年度創立22年目を迎えました。改めて関係各位の皆様のご支援ご協力に厚く御礼申し上げます。

まずは昨年10月に行いましたアンケート結果について報告致します。今回中部支部の同窓生の皆様にアンケートを行いましたのは、「中部支部の集い」開催の案内に併せて、今後の支部活動の参考にしたいという想いで実施致しました。同窓会本部より入手しました卒業生名簿から239名にアンケートをお願いしました。回答結果ですが118名から回答を頂き、回収率は51.8%でした。宛名不明未着返戻11名、ご遺族から「本人死亡」の返信が12名でした。集いの参加者は4名、中部支部の存在を知っていた方は64名でした。将来、中部支部に入会するかもしれないとの回答は9名でした。又、今後入会しない（案内状も不要）とした回答は84名でした。今回のアンケートは支部の活動資金の厳しい中、行う事となりましたが回答率の結果が51.8%ということで残念な結果でした。ただ今後、支部の活動に入会する可能性がある同窓生が9名見えました。今後は今回のアンケートの状況を踏まえて、支部の活動に活かしていきたいと思えます。

令和7年度「中部支部の集い」総会・懇親会は、11月15日（土）12：00～会場は前年度同様木曾路（しゃぶしゃぶ・日本料理）で開催しました。出席者は10名でした。静岡からは、同窓会本部原耕司会長（第73回 S47年卒）、古牧清孝前本部組織委員長（第71回 S45年卒）の2名の方にお越し頂きました。

総会・懇親会の司会進行は、立林幹事長（第71回 S45年卒）の開会宣言で始まり、支部長挨拶・令和6年度事業報告・会計報告・会計監査報告を行いました。来賓の原本部会長からは、静商の状況などを伺いました。令和7年度より募集定員が200名になり、定員割れは回避されたとのこと。松浦校長自らが各中学校を訪問して、静商への進学をお願いしたということでした。ただ今後懸念されることは、私立高校を含み令和8年度から授業料の無償化になることでした。公立と私立の学費負担が大幅に圧縮されることで、私立の人気の高まる危機感が公立側にはあります。これからは、進路先に静商が選ばれるよう、学校の特色を打ち出す必要性に迫られていますが、人口減少が進む中だけに、この先統廃合の加速に追い込まれる可能性も全くないとは言えない状況です。

今後の支部活動につきましても、こうした状況を踏まえて取り組んで行きます。

前年度は会場が手狭でしたが、今年度は掘炬燵席のかなりゆったりとした会場で行うこと

ができました。

懇親会は食事をしながらの歓談、お酒も進み最後に校歌斉唱、予定時間をオーバーして終了したのは15時でした。今回も同窓生の皆さんと短い時間ではありましたが、楽しい時間を過ごすことができました。

ありがとうございました

次回の「中部支部の集い」も11月に開催する予定ですが、出席者がもう少し増えればと思います。宜しくお願い致します。

以上



同窓会本部
原耕司会長（73回・S47年卒）

岩田孝行さん（58回・S32年卒）



古牧清孝さん（71回・S45年）



毛利智子さん (67回・S41年卒)

三宅八千代さん (71回・S45年卒)

山下彰さん (70回・S44年卒)

三浦幸江さん (64回・S38年卒)

『令和8年度 中部支部年会費納入のお願い』

令和8年度の年会費を同封の郵便振替用紙にて、1口2,000円の納入にご協力のお願いを致します。一人何口でも構いません。

尚、会費は通信費・支部だよりの作成費・事務費などに使われています。

近年の年会費納入状況です。

令和5(2023)年度 26名 84,000円、令和6(2024)年度 21名 63,000円

令和6(2025)年度 13名 49,000円

何卒年会費納入のご協力を宜しくお願い申し上げます。

(編集後記)

我が母校の大先輩、北川民治画伯生誕130周年展が瀬戸市美術館と瀬戸信金アートギャラリーで開催中の令和8年3月18日、同窓会島田支部(原田慶一支部長 第71回・S45年卒)主催のバスツアー14名と原支部長、岩田及び立林で短い時間ではあったが交流が出来ました。私は静岡を離れて半世紀余、第70回同期生の種本・原田・勝山氏にお会いして何かほっとした感じ、お互いに記憶は無いけれど何故か懐かしい、又会おうと言って別れた。(岩田茂夫)

